

吉住工務店 | 会社案内

Greetings | ご挨拶

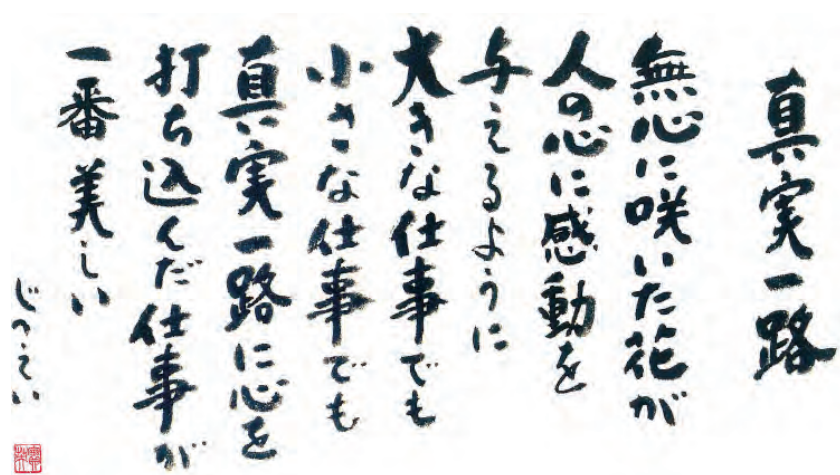
吉住工務店は、創業者である吉住茂が昭和17年に左官店を開いたのが始まりです。それ以来地域の皆さまのご愛顧のお蔭で業容を拡大し、地域の公民館や小学校校舎など多くの公共事業をはじめ、住宅やリフォームにおいても数多くのご縁をいただき、今日まで歩んで参りました。お客様をはじめ関係者の皆様に感謝の念に堪えることはありません。

建物の大小にかかわらず、安全で快適な建物づくりを通して人を幸せにすることが私達の使命です。また社員一人ひとりが仕事を通じて、技術的な向上に邁進すると共に、社会の中での役割や責任からやりがいを感じ、人間的にも成長を遂げて参りたいと考えております。

社は「真実一路」の精神のもと全社員が一丸となり真摯に建物づくりに取り組んで参る所存ですので、今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

株式会社吉住工務店
代表取締役社長

吉住正基



社は「真実一路」

昭和 43 年、神池寺会館という公共の宿泊施設を施工させていただきました。丹波比叡とも呼ばれる標高 565m の妙高山々頂の現場まで、道なき道を人力で資材を運び、建物を完成させた時、その仕事ぶりを見ていらしゃった神池寺ご住職の荒樋大僧正が、記念としてご自身が揮毫された書を送ってくださいました。そこに書かれていた言葉が『真実一路』です。それ以来『真実一路』を全社員の行動の基本とすべく、社是として大切にしております。

経営理念

吉住工務店は、社是「真実一路」の精神に基づいた
建物造りをもってお客様と地域社会に貢献する。

併せて、全社員が仕事を通じて技を磨き、心高めて
物心両面の幸せを得ることを目指すものである。



兵庫陶芸美術館

サステナブル社会の実現に向けたムーブメントが興りつつある今、建築に求められる機能もさらに高度化、多様化しています。環境への配慮はもちろん、安全性・強靭性・持続性・快適性など「人への優しさ」という視点がますます重要視される時代になりました。「人への優しさ」すなわち「安心、安全、幸せ、喜び、育み、伝統、これらの建築に対する『思い』」は将来においても普遍であると吉住工務店は考えています。私たちは今後もこうした視点に立ち、新たな建築の創造を通じて理想の社会の実現に向けたダイナミックな活動を展開してまいります。



保月の家 / 丹波オフィス (設計・施工)
グッドデザイン賞 2016 受賞 / ウッドデザイン賞 2015 受賞



東日本大震災を契機として高まる建物の耐震性の要請とエネルギーの効率化への取り組みや環境負荷の低減をめざす大規模木造建築物の要請など、今後の建築に課せられた使命は更に高度化していきます。吉住工務店はこれまでに公共工事を中心に鍛えてきた施工技術を資源として、時代の要請である建築の在り方について社内での設計施工・保守メンテの一貫体制を構築し、次の時代に向けたオンリーワンを創造します。既に経済産業省が主導する ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）ビルダーの登録や、認定長期優良住宅制度、構造用集成材による大断面木造や CLT 等の新しい木造建築材料を採用した大規模木造建築物などへの積極的な取り組みをすることでクライアントの潜在要望に応えることを重要課題として設計提案を行っています。

■ 中大規模木造建築



地域資源活用拠点 ゆめの樹（設計・施工）
ウッドデザイン賞 2016 受賞

強靱で優しい、最新の中大規模木造。

木構造の技術革新と法整備により、これまでは計画の難しかった規模の建築物を木構造とする新しい流れが生まれています。木構造でありながらラーメン架構を実現する耐震性の高い構法を採用するなど、吉住工務店はいち早く先進の技術を取り入れた提案をしております。以前はその強度に関する課題が不安視されていましたが、構造性能を担保するために立体解析による構造計算システムや木造の新しい技術等の出現によってそのデメリットも解消され、現在は数多くの大規模な建築物に木構造が採用されています。強度が向上したことはデザイン性の向上にもつながり、より個性的な建築を可能とします。そして、あたたかな素材感とコストパフォーマンスにも優れた木造建築は、教育施設や医療・福祉施設、商業施設などの中大規模建築物に、さらなる可能性を広げます。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2016



WAKU DENTAL CLINIC(設計・施工)
歯科医院デザインアワード 2015 グランプリ受賞

コミュニケーションによる地域医療の進化

近年、医療は地域での在り方と、少子高齢化への対策がクローズアップされています。建築設計も、単なるファシリティの提案からクライアントとの未来創造の領域へとシフトしており、我々はこの2つの課題をメーカー(marketer)として提案します。単なるファシリティからの脱皮は、クライアントの専門性と地域での在り方を定義することからスタートし、医療スタッフと患者の交流に着目したコミュニケーションによる地域医療の進化を目指します。スマートウェルネスを推進する行政の政策も見据えたソリューションにご期待ください。

■ 土地の有効活用への取り組み



sh-housing(設計・施工)

遊休資産の見直し

平成 27 年 1 月の相続税改正を受け、特に法人様などでは遊休資産の見直しが活発になっています。なかでも老人福祉施設、低層集合住宅等の建物の構造に、木構造がクローズアップされていることには理由があります。木構造の場合は、鉄筋コンクリート造等と比較して、減価償却に規定されている法定耐用年数が短く設定されていることから、保有資産と税との関係は有利になります。例えば、土地を定期借地権で貸借のケースにおいて、当該契約の年数に近い耐用年数が設定された構造で建てると、貸借期間の満了時に科目上の償却資産を残さず、もしくは償却資産価値の少ない状態での除却が可能となります。吉住工務店では、環境性能の高い木構造は、土地の活用にも効果を発揮することを皆様にお伝えしています。

■ 古民家再生への取り組み



歯科石井醫院
歯科医院デザインアワード 2016 審査員特別賞受賞

良いものをつくって、長く大切につかう

最近特に支持を集めている古民家再生ですが、その理由は時を経たものが持つ重厚感、そして安心感ではないでしょうか。土間や囲炉裏がある、まさに古民家テイストの家に住みたい方もいらっしゃるでしょう、古材の存在感を活かしつつも現代風にアレンジした、モダンテイストの家を希望される方もいらっしゃるでしょう。吉住工務店は古民家の価値を、その活用方法を知っています。だからこそ、再生のために適切な設計・施工ができるのです。元来、私たち日本人が最も大切にしてきた「良いものをつくって、長く大切につかう」という教えを、吉住工務店は建築の手法に取り入れています。数世代に渡って守り受け継がれてきた建築に新しい息吹を生み出す、そんな良いものを長く大切に使う取組みは、設計・施工の一貫した技術を有する私たちが得意とする価値提案のひとつです。



Le vent de Tamba

丹波 | 風の工房

KAZE NO KOBO, TAMBA PROVINCE



西宮展示場 (モデルハウス)

丹波 | 風の工房とは

吉住工務店は、丹精込めた住まいづくりを追求するために、2007年に丹波市と西宮市にモデルハウスを開設し、『丹波 | 風の工房』を発足しました。『丹波 | 風の工房』では、自然素材と地域の気候風土が育んだ森の木をいかした、職人の手仕事による丹念な家づくりを行っています。パッシブな設計手法 (エアパス工法) を用い、広がりの間取り、風の通り道を大切に四季を通じて快適な住まい。太陽や風といった自然の因子を巧みに取り入れ、木や漆喰等の自然素材をふんだんに使用した「自然の恵みが育んだ家」を、心地良い丹波の風とともにお届けしたい。ロゴマークには、丹波の素晴らしさ (自然の恵み) を届ける使者 = 「風の鳥」として当社の住まいづくりの思いが図案化されています。

■ 自立循環型住宅への取り組み



パッシブデザイン(エアバス工法)による設計

パッシブデザイン(エアバス工法)は機械設備に頼らず、自然の陽や風を建物に上手く取り込んで自然の力で壁体内の空気を循環させることによって、床・壁・天井の表面温度を均一にします。冬は床下換気口と小屋裏換気口を閉じる事によって太陽熱で暖められた空気が緩やかに家全体を包み込みます。少ない暖房でもよく暖まりますし、湿気もこもりません。夏は床下換気口と小屋裏換気口を開放する事で壁内の熱気と湿気を排出し室内の温度上昇を抑制して爽やかな涼しさを実現できます。この様に冬と夏とで衣替えができます。だから、一年中健康で快適な空気の中で暮らせます。



家族が健康でいるために、やはり自然素材にこだわりたい

「吉住工務店の家に入ると、空気が違う」。こうしたお客様の声を、しばしばお聞きます。化学物質に過敏な方でも、吉住工務店の家に入れば咳がびたりと治まる。そんな場面も珍しくありません。

なぜなら吉住工務店の家は、本物の自然素材を使っているから。構造材やフローリングから下地材まで、すべて国産の無垢材を用い、壁は漆喰塗りで仕上げます。耐力壁の下地板にも天然の粘土鉱物を主成分とする「モイス」を使うなど、徹底的に自然素材にこだわっています。

Company Profile | 会社概要



名 称	株式会社 吉住工務店	ISO の認証	ISO 9001 (品質マネジメントシステム) ISO 14001(環境マネジメントシステム)
代表取締役	会長 吉住俊一 社長 吉住正基	各種登録	建設業許可 兵庫県知事 (特-28) 第 750100 号 建築士事務所登録 (一級) 第 01A 03205 号 宅地建物取引業 兵庫県知事 (9) 第 750054 号
会社設立	1963 年 (昭和 38 年)		
資本金	3,000 万円		
本 社	兵庫県丹波市春日町野村 2465 TEL.0795-74-0712	有資格者	一級建築士 6 名 二級建築士 8 名 一級建築施工管理技士 9 名 一級土木施工管理技士 1 名 宅地建物取引主任者 4 名
こだま館 (丹波展示場)	兵庫県丹波市春日町七日市 590 TEL.0795-74-2785		
西宮営業所 (西宮展示場)	兵庫県西宮市長田町 4-1 TEL.0798-31-2063	従業員数	39 名
三田オフィス	兵庫県三田市相生町 24-28 1F TEL.079-555-6281	取引銀行	中兵庫信用金庫 春日支店 丹波ひかみ農業協同組合 春日支店 三井住友銀行 篠山支店
事業案内	総合建築業		

History | 沿革

1942 年	兵庫県氷上郡春日町中山にて創業
1963 年	組織を株式会社に変更、資本金 534.6 万円 兵庫県氷上郡黒井に設置
1974 年	資本金を 935 万円に増資
1980 年	資本金を 1,935 万円に増資
1982 年	資本金を 3,000 万円に増資
1987 年	兵庫県氷上郡春日町野村に本社移転
1994 年	兵庫県氷上郡春日町黒井に社宅設置
1995 年	兵庫県三田市高次に営業所開設
1996 年	兵庫県氷上郡春日町七日市に住宅事業部開設
1997 年	優良申告法人の表敬を受ける
2001 年	ISO 9001 認証取得 三田営業所業務を本社に統合
2003 年	ISO 14001 認証取得 優良申告法人の再表敬を受ける （ひょうご木の住まい協議会に入会）
2005 年	ひょうご木の住まい春日モデル 開設
2006 年	住宅事業部 丹波市春日町七日市の展示場 並びに事務所を改装し「こだま館」を開設 エアパスグループに加盟
2007 年	住宅事業部を丹波・四季の家に名称変更 丹波市に丹波・四季の家春日展示場開設 芦屋市に丹波・四季の家 芦屋展示場開設 （現在は販売済み） 西宮市に丹波・四季の家 西宮営業所開設
2008 年	優良申告法人の三度目の表敬を受ける
2009 年	兵庫県西宮市長田町に西宮展示場開設
2012 年	法人設立 50 周年（創業 71 周年）をむかえる
2014 年	丹波・四季の家を丹波 風の工房に名称変更
2015 年	優良申告法人の四度目の表敬を受ける JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2015 受賞「保月の家 / 丹波オフィス」
2016 年	創業 75 周年をむかえる 兵庫県三田市相生町に三田営業所開設 GOOD DESIGN AWARD 2016 受賞「保月の家 / 丹波オフィス」 JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016 受賞「ゆめの樹」
2017 年	創業 75 周年記念誌発行
現在に至る	

Office | 事業所



本社



こだま館 (地域交流・イベントスペース)



丹波展示場 (体験宿泊棟)

本社

住所 兵庫県丹波市春日町野村 2465

TEL 0795-74-0712

FAX 0795-74-2329

こだま館・丹波展示場

住所 兵庫県丹波市春日町七日市 590

TEL 0795-74-2785

FAX 0795-74-2786



西宮営業所



西宮展示場 (モデルハウス・ギャラリー・屋内広場)



三田オフィス

西宮営業所・西宮展示場

住所 兵庫県西宮市長田町 4-1

TEL 0798-31-2061

FAX 0798-31-2062

三田オフィス

住所 兵庫県三田市相生町 24-28 1F

TEL 079-555-6281

FAX 079-555-6281